

朝の15分ゼミ

プログレスコースの生徒は毎週木曜日、朝15分を使い、ゼミ形式の討論を行っている。4～5名を1グループとし、毎週担当者が新聞記事をもとにレジюмеを作成し、その内容についてディスカッションを行う。レジюмеはSDGsとの関連性を明確にしながら作成し、SDGs達成のための課題や解決方法、現状の分析などについて話し合う。目標は質問力を高めることとし、良質の質問をすることで論点を整理したり、考察を深めたり、視点を広げたりできることを実感しながら、思考力を高めていくねらいがあった。

年度初めに教員がレジюмеの例を作成し、それを読みながら質問例や話し合う際のポイント（5W1Hをはじめ、視点の持ち方など）を説明した。生徒たちは教員がいなくても決まった時間に図書館に集まり、3年生のリーダーを中心にグループごとに自治的にゼミを開始する。場所を図書館としたのは開放的で明るい雰囲気が話し合いを活性化させるのではないかと目論見と、話し合いで気になったことについて、すぐに本を借りて調べることができる（読書週間につながる）という理由からだ。司書教諭も非常に意欲的に動いてくれ、15分ゼミで話題に上がったテーマの特集を図書館で行ってくれたり、生徒に本を推薦してくれたりして、連携して行うことができた。最終的には図書館にSDGsコーナーを設置し、それぞれのゴールに関連する本を展示してくれた。

3年生にとっては入試の面接や小論文などで、ここで話し合った経験が活かされたようで、大変好評であった。私たち教員から見ても、日を追うごとに着眼点が増え、良質の質問が飛び交うようになり、それに伴い、議論が深まっていったように感じている。たかが15分ではあるが、1年間をかけて取り組むことで、期待以上の効果があったと考えている。